

「だけ」じゃない図書館

生涯学習課 ☎632

来館者を待ってる 「だけ」じゃない

11月は、夜が長く涼しい「秋」の真ただ中。そんな過ごしやすい季節から連想するものに、食欲の秋、スポーツの秋と並んで「読書の秋」があります。10月27日から11月9日までは（公社）読書推進運動協議会が唱える「読書週間」です。

そこで、本特集では、中央図書館の長谷川館長や利用者の方にお話を伺い、読書の大切さや市の図書館の取組みについてお伝えします。

利

用者へのサービスを充実させるため、民間の指定管理者が市と連携しながら

ら管理運営を行っている市の図書館。中でも、中央図書館は幅広い蔵書に加え、WiFiが使え、学習席やDVD・CDの視聴覚ブースを備え、一般図書と児童図書コーナーの間をガラスのパーティションで区切って遮音性を高めるなど、小さな子ども同士や親子でも気軽に入館できる、市の学びの中心的存在です。

長谷川館長は、読書の大切さについて「読書は全世代にわたって多くのメリットがあります。例えば、子どもの語彙力・想像力の向上はよく知られていますが、高齢の方にも脳の活性化に役立つという研究もあります。若い世代の方

にも、例えば大学生であれば、レポートなどを書く際に、インターネットで調べた場合は表面上の知識に偏りがちですが、本を使って調べた場合は本全体に目を通さないと該当する部分が拾えず、類書も読むことが多いため知識が広がり、自分の考えや意見が明確になると言われています」と語ります。

図書館の業務は、本の貸出・返却が中心のイメージがありますが、市の図書館が重きを置いているのは、来館者の探している図書や調べごとに積極的に関わっていく、図書館サービスの提供です。あまり知られていない図書館の業務に、レファレンスというものがありません。長谷川館長は「レファレンスとは、利用者の調べたいものと同じく、資料を探してお手伝いをすることですが、本館にふさわしい資料がなければ、ほかの自治体の図書館から取り寄せたり、新しく購入するなどして対応しています。

利用者からの相談に対し『ありません・わかりません』とは言わないうのが基本的な姿勢です。利用者の方が話しかけやすい雰囲気を出せるよう心掛けています」と市の図書館の対応を説明してくれました。

また、人と図書の関わりを増やしていくため、まだ図書との関わりを持っていない市民の皆さんが図書に触れられるような取組みも行っています。

例えば、これまで実施してきた健康増進センターでの12か月児健診時に本をプレゼントする『ブックスタート』に加え、昨年度から小学1年生に図書館利用カードと本をプレゼントする『セカンドブック』を始めました。また、今年9月からは、障がいのある方や図書

館への来館が困難な方向けに本の宅配サービスを始めました。市の図書館が重視しているのは、本を読むことだけにとどまりません。長谷川館長は「図書館は、子どもが1人で利用する初めての公共施設で、使ったものを元に戻す、借りたものを期日までに返す、館内を走らない、周囲の人に気を遣うなど、社会的なマナーが詰め込まれています。そのような意味では図書館は家庭であり、学校であり、地域でもあります。また、今

後は外部との連携を進めるため、学校や町会、市民サークルの方々と交流を深め、市や地域の情報を図書館からも発信することで、ひととまちを輝かせられるような運営をしていきます」と図書館が地域の学び場としてさらに発展していく展望を語りました。



中央図書館
館長 長谷川 実 さん

現在キラリ財団とともに中央図書館と図書館ふじみ野分館の指定管理を行う㈱図書館流通センターに平成24年に入社。以降、墨田区立図書館統括責任者、図書館鶴瀬西分館長、ふじみ野市上福岡図書館長を経て、令和2年4月から中央図書館長に着任し、現在に至る。

市の図書館



中央図書館
鶴馬1873-1
☎049-252-5825



図書館鶴瀬西分館
(つるせ台小学校併設)
鶴瀬西2-9-1
☎049-252-5945



図書館ふじみ野分館
(ふじみ野交流センター内)
ふじみ野東3-7-1
☎049-256-8860



水谷東公民館図書室
(水谷東公民館内)
水谷東2-12-10
※問合せは中央図書館へ

本を貸す

「だけ」じゃない

各図書館で 催しものを開催

市の図書館では、より市民の皆さんに親しまれ、気軽に立ち寄れる図書館を目指し、さまざまな事業を開催しています。

事業の内容は、おはなし会などの図書に関係あるものばかりではなく、映画上映会や伝統工芸品の製作、ミニコンサートなど多方面にわたり、図書館が地域住民の集える場所になるよう工夫されています。

11月の事業は20・21ページ、富士見市立図書館ホームページで紹介しています。



中央図書館「図書館まつり」



図書館ふじみ野分館「ぬいぐるみおとまり会」



図書館鶴瀬西分館「キャラクター・シナリオ創作ワークショップ」

利用者の声

大人も子どもも楽しめる居心地の良さ

市の図書館は児童書の配架の高さに工夫があるだけでなく「ぬいぐるみおとまり会」などの事業を開催するなど、子どもが読書を親しめる仕掛けがあり、親子でよく利用しています。娘は読書が好きですが、事業に参加するのも大好きで、いつも図書館でどんな事業が開催されるか楽しみにしています。事業はとてもバラエティ豊かで、読書感想文のワークショップなどといった学校で役立つものもありますし、御朱印帳づくりなど大人も楽しめるものも開催されています。

以前は子連れだと子どもが騒いでしまわないかと図書館を訪れるのに二の足を踏んでしまいましたが、今はパーテーションなどの工夫により、そういった心配もしないで済むようになりました。気軽に立ち寄れる居心地の良さが、富士見市の図書館の良いところですね。



小栗 知実 さん・央 さん (市内在住)

紙の図書

「だけ」じゃない

富士見市 電子図書館開設

新

新型コロナウイルス感染症対策として、他者との接触を減らしながら本と触れ合う機会を提供しています。パソコンやスマートフォンなどから、インターネット上で図書を閲覧できる「富士見市電子図書館」を7月に開設しました。

電子図書館では、同時に3冊までを15日間閲覧できます。図書を借りる・返す手続きもワンタップ・ワンクリックで簡単なおうえ、貸出期限が過ぎたら自動的に返却扱いとなるため、返却し忘れもありません。

閲覧方法など詳しくは富士見市電子図書館ホームページをご覧ください。



利用するには登録が必要です

対象 市内在住、在勤、在学中、図書館利用カードをお持ちの方

申請先 中央図書館、図書館鶴瀬西分館、図書館ふじみ野分館、水谷東公民館図書室で直接お申し込みください。申込みの翌日から利用ができます。

持ち物 図書館利用カード、本人確認ができるもの（健康保険証、運転免許証など）

※在勤、在学の方は市内に在勤、在学していることが確認できるもの（社員証、学生証など）をお持ちください。



閲覧イメージ

電子図書館で閲覧できる図書を 3,000タイトル追加します

現在閲覧できる1,084タイトルの中で、割合の少ない小説を中心に、実用書や中高生向けの資料などを段階的に追加していきます。